学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	インテリア計画	単位数	1 単位	年次	2 年次
使用教科書	インテリア計画（実教出版）						
副教材等	超図解で全部わかるインテリアデザイン入門（株式会社エクスナレッジ）・インテリア技能検						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インテリア計画を建築物などの内部空間をつくるにあたっての設計条件や考え方を整理する視点で捉え，工業生産と相互に関連付けて考察し，実践的・体験的な学習を行うことなどを通して建築計画や環境工学・設備を取り上げながら、インテリアの計画ができる能力と態度を身に付ける。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・建築物などの内部空間をつくるにあたっての設計条件や考え方を整理する。

【思考力、判断力、表現力等】
・工業生産と相互に関連付けて考察し、インテリアに関わる図面として表現する。

【学びに向かう力、人間性等】
・実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、インテリアにおける空間に興味関心をもち、主体的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・インテリアの造形と心理について，色彩の概念と分類，色彩表示系と配色，色彩と手クスチェアーを理解できている。 ・インテリアと人間工学について人体と人体寸法，姿勢と動作及びインテリアと住空間を踏まえて，関連する技術を理解している。	・人間の心理や行動に対応したインテリア計画に着目し，インテリアの造形と心理に関する課題を考察することができる。 ・生活の変化や豊かで快適なインテリア空間に着目して，インテリアと人間工学に関する課題を考察することができる。	・インテリアの計画について自ら学び，主体的に学ぶ態度を身に付けている。 ・協働的な学びを通じて，自身の学習を見直し，改善を図ろうとしている。 ・インテリアの造形と心理について，主体的に学ぶ態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	インテリア計画の概要	・インテリアの環境 ・屋外環境 ・屋内環境 ・規模計画 ・建築計画 ・設備と動線 ・図面と寸法関係	a：屋外環境と屋内環境を関連付けた適切な題材を選定している。インテリア空間の計画について理解している。 b：生活の変化や豊かで快適なインテリア空間の計画に着目して、建築計画と寸法計画に関する課題を見いだし、思考・判断している。 c： インテリア計画について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・学習状況の観察 ・作品・プリント ・レポート ・発表 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・作品・プリント ・レポート ・発表 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・作品・プリント ・レポート ・発表 ・自己評価・相互評価等
2	インテリアにおける表現	・インテリアの環境 ・屋外環境 ・屋内環境 ・規模計画 ・建築計画 ・設備と動線 ・図面と寸法関係	a：屋外環境と屋内環境を関連付けた適切な題材を選定している。インテリア空間の計画について理解している。 b：生活の変化や豊かで快適なインテリア空間の計画に着目して、規模計画と寸法計画に関する課題を見いだし、思考・判断している。 c： インテリア計画について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・学習状況の観察 ・作品・プリント ・レポート ・発表 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・作品・プリント ・レポート ・発表 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・作品・プリント ・レポート ・発表 ・自己評価・相互評価等
3	インテリアと空間	・各種空間の計画 ・住宅 ・空間の表現と図法　等	a：屋外環境と屋内環境を関連付けた適切な題材を選定している。インテリア空間の計画について理解している。 b：生活の変化や豊かで快適なインテリア空間の計画に着目して、規模計画と寸法計画に関する課題を見いだし、思考・判断している。 c： インテリア計画について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・学習状況の観察 ・作品・プリント ・レポート ・発表 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・作品・プリント ・レポート ・発表 ・自己評価・相互評価等	・学習状況の観察 ・作品・プリント ・レポート ・発表 ・自己評価・相互評価等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度